

この意見集は、平成 14 年度に実施された「山口大学における男女共同参画に関する意識調査」でアンケート用紙に自由記載された意見全 419 件を、内容によって A-H の 8 つに大別し、そのなかから代表的な意見を選びそのまま記載したものです。

- A. 男女共同参画 (p1)
- B. 男女平等は個人の意識の問題・意識改革の必要性 (p1)
- C. 雇用・雇用形態の現状・雇用均等法 (p2)
- D. 男女の性差・男女平等 (p3)
- E. 制度施策の必要性・実効性・適用の仕方・能力主義 (p4)
- F. 女性差別・社会的公正の実現・社会通念 (p4)
- G. 啓蒙の必要性・幅広い議論の必要性 (p4)
- H. その他 (アンケートそのものについてなど) (p5)

なお、意見の最初につけられた番号はアンケート表の通し番号であり、個人を特定するものではありません。

A. 男女共同参画

《「男女共同参画」の意味が不明》

No. 1147 男女共同参画社会という言葉は初めて知りました。もっと広く多くの人にこの活動のことや言葉の意味を知ってもらうことが重要である。私自身も分かりませんが、何を目的とし、どのような活動をしているのか分かりません。 <他 14 件>

《男女共同参画という言葉への違和感》

No. 981 男女共同参画社会については賛成なのですが、その言葉自体、時として男女差別を語るものでもあると思います。 <他 7 件>

《無理に実現する必要はない・すでに実現している》

No. 134 才能や技術、知識を持つ女性は、社会へ進出して、きちんと仕事をしている。男女共同参画社会と大きくとりあげる必要はない。男性、女性の個々の優れた性質を生かして今後もいけばよい。平常どおりでよいと考える。無理に平等にする必要はない。

No. 337 結局は、男女平等社会はありえないと思う。女性が一家の大黒柱として、働くことなんて想像できない。男は主、女は家庭というのが、これから先もずっと続いていくような気がする。それに対して、私は何の不満もないし、むしろ今まで育ってきた環境からは、それが一番いいのではないかと思う。平等にしてほしいという人(女性)がいるのであれば、その方たちがそうなれるように(自分達が)努力していけばよい。 <他 18 件>

《共同参画社会とは・その実現のために》

No. 2363 共同参画と言うのは、職場、学校などで男女比率を同じにする事ではない。適材適所が必要であり、場所によっては偏りがあるのも、当然である。もっと大切な問題とは『男女が同じ社会で活躍できる場を与えられる必要がある』という意識であり数の上で男女比の雇用数などそろえても、その意識が育ってない以上、共同参画は実現しない。

No. 1907 年齢、性別、人種、宗教などの差があるが、必要なのは『平等』のいしきではなく『共同』である。仲間意識、連帯感のためだけに水準を低く下げるのは、間違いといえる。共同参画社会を目指すならば、個人ができることを少しでも参加し、その成果として、社会意識を高めていきたい。

No. 2196 『男性らしさ・女性らしさ』があるとすれば、それは『らしさ』を引き出せるような社会『らしさ』を基本にした共同参画社会であってほしい。『すべてのことを同じにするのが平等ではない』ということ、しっかりと認識して、その上で努力したい。

No. 1529 法律ができて、実際に実行していくことは、難しいとは思いますが、少しずつでも、前進するよう、あらゆる機会をとらえて、けいもうしたり、改めなおしたりして実行して欲しい。そして女性自身も、しっかりと現実を見つめなおして自らの手で、男女共同参画社会をつくるべく努力していかなばならないと思います。 <他 35 件>

《その他》

No. 1859 (現時点では)公務員である我々にとっては、男女共同参画は実現されているほうかもしれない。男女格差は一般企業のほうが言うまでもなく厳しい。男女共同参画という言葉は、最終的にどのような社会の実現を目指しているのか自分なりに考えてみましたが、具体像がなかなか思いつきません。社会意識を変える必要があるとして、どのような方向で進んでいけばよいか、日本的な社会に通うものなのか、難しい問題を含んでいると思います。

No. 55 少子化の影響で、日本が現状を維持する為には、女性の様々なる分野への進出は不可欠なことを考えます。ただ仕事を持った女性のみを積極的に支援しようという考え方には同調できません。このアンケートでも男女共同参画と男女間の雇用格差の是正が同義で扱われているように感じられますが、この点には疑問があります。これまでの育児の経験から男性は特に乳幼児に対しては決して母親の代わりになることはできません。家庭で育児に専念している者(男性でも女性でも)も気後れすることなく、社会に参画できるようにすることこそ重要だと考えます。

No. 884 私は、大学に入り女性であることの障害を感じた。お茶を入れる回数は同じであったが、女性は男性よりも手際よく、上手にいれないといけないという見方をされることがあった。そして、授業をうける上でも、あまりにも男性教員ばかりで、ほとんど女性の授業を受けたことがない。就職に関しても、自分の父親の会社の話を聞くと、男女でははっきり仕事内容が違っている。一生懸命勉強して、男性と同じだけの学力をつけても、男性は戦力、女性は雑務であれば働く気も起きない。勉強することが馬鹿らしく感じる。私は性別で能力の差が出るとは思わない。きちんと実力を確かめ合って、同じ人間として考えることが大切だと思う。 <他 2 件>

B. 男女平等は個人の意識の問題・意識改革の必要性

No. 6 女性の権利を主張しすぎて不平等になってしまうし、かといって現状では、育児・介護就職・昇進などでは女性のほうが男性に比べ

て不利な立場にある気がする。結局男女に関係なく一人一人が人間として、いかに他人に対して思いやりをもてるかが大切ではないか。また自分の地位を利用した、セクハラなどの問題も潜在的に校内にある気がする。この問題について大学は学生だけでなく、教職員にもっと強くやめるようにアピールしてほしい。

No. 120 男女共同参画社会という考え自体、男女間に差があることをふまえていると思う。人間として、仕事にいかに関わり、人間関係を作っていくかという視点で考えれば、自然と意識差はなくなるのではないのでしょうか。

No. 195 日本の女性はパラサイト意識が高い。独身時代は親にパラサイトし、結婚すれば夫にパラサイトして、楽で安易な生活を望む傾向がある。男女共同参画社会にしたいのなら、男女問わずに自立した人間であるべきと思う。男女共同参画からは少しずれるかもしれませんが、女性が男性並に仕事をしようと思えば、独身でなければできないと思う。その背景に、男性が家庭や家族を犠牲にしているというのもあると思いますが女性の場合仕事をする時間と恵まれた経済力がある独身者だけしか生き残れないのも間違っている。(こういう人が上に立つと子育てや介護をする女性たちへの配慮は絶えない)男性側の社会を家庭を重視する方向に転換させるとともに、女性側も社会の構成員としての自立を高めるべき。もっと働きながら子育てや介護している女性のパワーが社会での勢力を高めるべきで、これが当たり前の女性であるかの教育も必要ではないのでしょうか。

No. 252 入学して、すぐに男女共同参画社会の説明を受けましたが、私たちが从いていても、やはり山大的男性教員の方の意識の低さがよく分かります。今までは、このような問題に関係なく、暮らしていたのですが、これからは就職の問題としても大きく関わってくるので、最近いろいろ考え始めました。でも、今までの日本が、男性優先で成り立ってきたので、今すぐ変わるの、難しいかもしれませんが。しかし変わってほしいのは事実です。これから人事だと思わず、自分自身にも関わってくる問題として、しっかり受けとめようと思います。

No. 420 男女共同参画ということを知らないので的外れるかもしれないが、男性・女性それぞれの特性をお互いに尊重しあい、思いやりをもって生活できればよいと思う。男性であれ女性であれ他人を傷つけるようなことは避け、協力しあってよりよい社会を作るべきである。もし社会的に個人の能力・能力が発揮できないようなことがあるならそれは改善するべきで、本人の意志も尊重されるべきである。一般的に女性のほうが不利であるかのように言われているが(このアンケートも)男性サイドからも考える必要はあると思う。私は個人的に、今の世の中、女性がわがままになりすぎていると思っている。女性も自立できずに努力を忘れてる人も多い。

No. 589 社会や職場が男性、女性として考えるのではなく、一人の人間として対等に、その個人の能力を理解していくことが大事と思う。よって例えば、職員の男女の数が不均衡だから1:1にするとかは、本当の意味での男女共同参画とは言えないのではないかと。

No. 320 男女共同参画社会は、だいぶ進んでいると思う。男女における仕事の内容は、現時点ではまだ少し格差があると思うが、男性も仕事に対する態度を考える必要がある。

No. 867 個人の能力や適正が中心であって、必ずしも、男女差を最初に意識立てる必要はない。

No. 1026 一人一人が自分自身で意識改革をしないと実現できないと思う。

No. 1557 アンケート自体が『女性』の方に偏ってないか。私自身女性だが、疑問を感じます。(女性の立場はそんなに弱いものだろうか)まだ大学になじんでないせいでしょうか。男でも女でも、自分で意識して社会に参画しようということが大切であると思う。

No. 983 教育者の立場にある教授・助教授クラスの人々の態度をかえてほしい。個人の考えはいろいろあって自由で良いのだが、公共の場、特にクラスや研究室では自分達がとる行動、発言が学生全体または、地域社会全体に影響を及ぼすのだという自覚をもって、女性の学ぶ意義、社会への参画について、前向きな姿勢を示す事が大切。

No. 2204 人が個人として尊重される考え方の普及、徹底の必要性。男とか女とか、何処の国の人だとか、役職だとか、そういうもので人を評価するような考え方はなく、人が個人として尊重される考え方や教育の普及が必要だと思います。男女の違いをふまえながら、それぞれの、豊かさを大切にすべきだと思います。子供を産むことは、人類にとって最大に大切な事、それを守る意識制度はもっと大きくしっかりという方向を切に願います。
<他60件>

C. 雇用・雇用形態の現状・雇用均等法

No. 821 就職活動を通して、初めて男女の社会の中でそれぞれの役割の違いが分かり、実際に差を感じました。

No. 1802 就職活動をしてみて、男女雇用が平等だと言われているが、その意味をはき違えている企業が多いと感じた。男女に同じ仕事を与えようという会社は、たいてい女性の結婚後のケアや福利厚生が不十分だった。女性に男性と同じような仕事を与えるなら女性への配慮をもっと向上させるべきだ。まだまだ女性軽視の風潮は残っている。

No. 226 今でも、就職の際に、女性が企業に問い合わせをすると、『女性は採用しない』とはっきり断られるそう。就職には歴然と女性差別が残っていると思う。女子学生として、本当に悔しいことだ。また、女性が子育てをしながら働ける環境が整っていない。子育てをしながら働くには、パートやアルバイトという雇用形態になる。それでも雇ってくれるぶんいいが、仕事を辞めなければならないこともある。就職を希望とする女子学生として、これは納得がいかない。女性の就労に対して、が固陋な考えを持つ人が多いのには驚く。最近、新聞でそういう記事をよく目にする。

No. 640 Q14 について、女性が男性と同じ労働条件を受け入れること。現時点が、女性にとって不利なように言われるし、このアンケートもそういった視点にたっているように感じる。しかし、現実には、女性が保護されている法律や勤務先での考慮も多い。母子保健という言葉はあるが父子保健はない。単身赴任はほとんど父親である。

- No. 1237 現在パートとして大学で働いておりますが、勤務してすぐパートにもかかわらず9時から17時までの8h労働で遅いときは19時になることもあります。大学という平等社会をいちばんに目指していく場なのに、書類上は6時間勤務の残業手当なしの17時までいることを強制されてます。正社員でなくボーナスもなく昇進もない。ただ他に就職するあてがないので、黙っていますが、こんなことが大学で当たり前のように行われています(どの科でも)時間給がでるのが、9時から15時までならそれ以外の時間を強制するのなら労働法に違反ではないでしょうか。事務で働いているパートの方はほとんど女性、安い賃金で、しかも、就業意欲が湧かない仕事内容では、男性は生活できませんし、女性も結婚せざるを得ないと思います。改善を望みます。
- No. 2686 当直室にアダルトビデオを持ち込む医師があり、不快に感じている。そのことを指摘したところ、『おまえも、見たんだろ』と言われ、落ち込んでいる。改善される様子もなく、モザイク消しのビデオを見た感想を女医相手に語る。現在の仕事にはやりがいもあり、魅力を感じているが、深夜まで続く労働条件(規律上ではなく慣行上男性医師の中では、女医医師が休みを取ることに對して、不平等を感じると公言される方もいらっしゃいます)では辞めざるをえないのではないかと考えている。 <他30件>

D. 男女の性差・男女平等

- No. 13 男女共同参画社会というのを今回初めて聞きました。私自身男女平等であることはとてもいいことだと思いますが、現実的にまったく平等になるというのは難しいと思います。やはり、男女間には肉体的、精神的にも違いがあるし、適・不適があると思います。適しているにもかかわらず女性だという理由でさせてもらえないなら問題ですが、ただこの社会についての考えは賛成です。
- No. 3027 私は基本的に、男女平等とは、男女の役割が考えられた上で成り立つものだと考えております。女性が社会に多く進出し、育児がおろそかになり、子供の世界が荒れている現状を目の当たりにすると、やはり母親は家庭にあってほしいと考えます。母の愛父の愛とは違います。男性ではなかなか母親の役割はできません。女性が社会進出するためには、子供が犠牲になるとするとどうでしょう。その点を確実にクリアできる夫婦であれば、社会進出は構わないと思いますが、現状を見て、今それは簡単なこととは思いません。
- No. 349 男性も女性も同じ人間なのだから、あまり区別しすぎるのはおかしいと思う。女性でもしたいと思ったことはできる社会にしていけないとだめだと思う。
- No. 386 大人の古い固定観念に捉われていては実現しない。現代の若い人はそこまで男女の差を考えていないと思う。自分がそう考えるから。
- No. 565 男女平等とよく聞かすが、そういう男女平等という意識を高めることのほうが、男女に区別をつけ、差別しているように感じる。
- No. 587 男性・女性の違いで仕事内容について差があるのは、それは当然だと思う。問題なのは男女平等と言って、男性が女性に対して男性並みの能力を求めるのは無理があり、女性の就労意欲を損なうと思う。男性・女性、それぞれに合った仕事内容で、かつ女性が働きやすい環境をつくる事が大切だと思う。また男性、女性の区別なく、能力のある人は、昇進昇格できるような社会になるべきだと思う。働く女性の地位向上も、女性就労意欲アップにつながると思います。
- No. 907 この世の中において、男女関係なく一個人として、人権を尊重すべきであると思う。
- No. 1166 自分の能力を上手く発揮できるならどんな人でも社会で優遇されるべきであるし、逆に男だとしても無能な男は社会に必要なと思う。また男女が共同で社会に参加するのは賛成だが、その場合男女問わずどちらも同じだけの能力を発揮しなければならないと思う。
- No. 1498 個人が働きやすい環境というもので考える必要がある。男性・女性という区別がないほうがよい。女性としての自由というより、様々な考えられる事情に即し、対応できる柔軟で融通の利く社会であるべき。上司や会社、社会と個人の対話が尊重されるべきです。
- No. 1805 本当の男女共同参画社会にするには、男として、女として見るのではなく、一人の人間としてその人を見る、扱う事が大事だと思う。
- No. 1168 男女平等が認められる一方、『男らしさ』『女らしさ』というものの価値を全く無くしていいものとは思わない。もし、後者の脇を通せば、当然日本では、『男は仕事、女は家庭』という考え方も出てくると思う。ただ、日本の伝統的な考えの中にも、女性がしっかりと社会的地位を得ていた時代(江戸時代の三行半の風習・かかあ殿下)があるわけだから、単に欧米人の男女平等(雇用機会均等法)を取り入れたとしても、女性の育児環境の整備だったりがついていけないと思う。男女平等と『らしさ』の境界を作るのが難しいと思う。
- No. 1200 男女による性差による区別は実際にあっても構わないと思う。男女間の雇用・昇進・賃金格差は『女であるから』という理由のみでの差別はなくすべき。ただ差別をなくすからには、女性はそれなりのリスクがかかると思う。女性は今までのように『気楽な経済活動に『甘んじれない』というリスクを背負うべき。これからの時代価値観の多様化が進むと思う。従来の男女差別はなくすべきだが、全ての女性が新しい価値観になることはないと思う。女性個々人が決めることであって『家庭に入る女性』もあっていいと思う。
- No. 1388 時には、『男が強く女が弱い』という考えが必要なときもあるので、職場なので明らかに男女差別だと思われることは、直したほうがいいが、それ以外の普段のときは、考えなくていいと思う。前述の質問で、『教職員、学生の男女比を1:1にするべきである』などというのは、無意味なことだと思う。
- No. 1423 女性はおしとやかで、従順であることが理想とされ、社会進出を制限され、家に縛られて生きなければならないとされた時代が過去に長くあり、また、現在にもこの傾向は残存している。確かに、差別や隷従はいかなるものも、これを許してはならない。しかし、一方で現代社会においては、人間のあるべき姿が多様化し、とすればむやみに、男性であること女性であることの権利を主張し自由を要求する者もいる。誰もが男女の性差を超越した一個人として生きられる社会を実現すると共に、男女の誰もが、互いの性差を理解し、違いを受け入れられる環境の実現も必要となる。このためにも、全世界規模での全人類的な相互理解と、家庭、学校だ

けではない社会全体での教育が必要である。

- No. 1571 現状がどのようなものか分からないので、詳しいことは言えませんがアンケートをみると、男女を分けて考えすぎているのではないかと思います。自然のままが一番よく、それが納得できない女性は、自分の力を向上させ、周りを認めさせれば良いと思う。
- No. 1939 女性としてひとまとめにして考えられていますが、女性にもいろいろな考え方の人がいて、男女平等で実力を発揮したい人もいれば、男性に頼って楽をしたい人もいます。もっとも男女共同参画に障害になるのは、男女を問わず、都合の良いときだけ、自分が男である(女である)ことを主張する人達だと思います。
- No. 3176 男性は生活的自立、女性は経済的自立が必要。女性は自らの地位や品位を落としめるような行動、仕事をするべきではない。

<他 84 件>

E. 制度施策の必要性・実効性・適用のし方・能力主義

- No. 1318 女性が社会に出てゆくこと(働く)が、男女平等参画社会に繋がるのなら、その分家事を男性に任せられることができる社会制度もつくるべき。ワークシェアリングとは少し異なるが、仕事と家事を男女共に 50 : 50 にできること。労働時間を減らして、その分家事を専業主夫・妻に回す。
- No. 2098 0歳から中学生まで、きちんと子育てと仕事を両立できるような制度がほしい。子供が病気の時、妻が仕事をもっている場合、男性も仕事が休めるといようなことが社会的に認められるようになってほしい。病児もみてくれる、24時間保育所がほしい。
- No. 27 育児支援を充実すること。男性の育児支援政策が足りないので、男性が家庭に入ることができない。一番のネックは子育てが多くの夫婦に『負担』と感じられていること。この状況が続くと育児と仕事の両立が計れない。このことが原因となって結婚しない、あるいは子供を作らないという人たちが増えて、日本の人口減少になる。したがって幅広い育児支援政策が必要である。
- No. 51 女性の社会での活躍を妨げている最大の要因は、出産・育児期の女性を支える施設システムの欠除だと思います。
- No. 3109 Q18について、他者と守るべきものを共有して、人間的に刺激しあって成熟していく人生のパートナー。これからの社会で男女共同参画を実現するには、福祉社会高齢化社会、国際社会そして少子化が進む日本には必要不可欠な事柄だと思います。具体的に女性が出産、育児という大きな役割を社会や男性が認識して、ワークシェアや託児施設の充実、男性の育児休暇の義務化といった取り組みと、社会全体で子供を育てると言う環境の促進が求められるのではないかと感じます。長い目で人生を見て 30 代の育児後の社会復帰を目指した積極的な人生設計(家族計画)をして、パートナーの理解そして協力を求める事から始めたらいいのではないかと思います。
- No. 1725 『男女共同参画』『女性の保護』を制度としてという整合させるかを考慮する必要性を感じます。また、『機会の平等』は制度として保障されるべきですが、『結果の平等』を求めるとゆがみを生じると思います。(本アンケートの『平等』がどちらを意図しているか意図を図りかねます)この点を明確にしないと『改善』しても、本来救済されるべき女性(個人)は救済されず、別の女性がモデルとされ、男性にその分しわ寄せするだけという事態になりえないと思います。価値観の多様性を尊重しあわない社会、家庭の重要性を尊重しない社会を改善する事に努力すべきである。それを無視し(放置)たまま『男性、女性』というくくりで物事を判断する事(このアンケート含め)こそ男女共同参画社会の実現への障害だと思います。
- No. 936 制度で推進しなくても、自然とそうなるのがいいと考えている。実際のところ社会通念などが障害になっているので、制度で改めることが必要でしょう。時間がかかりそうですが、共同参画社会を実現させたい。
- No. 263 男女関係なく、能力のある者がそれ相応の地位のつくことは、至極当然のことであると昔から思っている。この考えは、最近だいがん広まっているはずではあるが、未だに存在するのは、頭の古い人達が上にいるからであり、そういう人達がいなくなる 30~40 年後には、職業関係の差別はなくなると思う。
- No. 113 大学の学問・研究の場では、教官・学者の能力・やる気を最重視するべきであり、職場の男女比を 1 : 1 にするという見かけ上の男女平等主義で、雇用・採用のやり方がゆがめられないようにすべきである。つまり能力のある教員であれば男女の別に関わりなく、採用すべきである。

<他 47 件>

F. 女性差別・社会的公正の実現・社会通念

- No. 1952 私が女性への差別を感じたのは、サークルや部活動の勧誘で女子のマネージャーを求めている事です。一般的に女性の方が男性よりも他人の世話をするという考えがあると思います。との点に関して、私はひどく腹立たしく思います。
- No. 31 社会的不公正がまかり通る世の中では、男女共同も難しい。
- No. 102 個人の考え方を尊重する社会があれば、『男女共同参画社会』が実現されているはずである。となく、日本には個人の尊厳、基本的人権などが、十分社会に根付いてない。
- No. 2745 女性全てを『弱者』というカテゴリー化すると、問題が生ずると考えられる。女性が女性をすることも現実には多いと思う。問題を同じにして考えてはならない。

<他 10 件>

G. 啓蒙の必要性・幅広い議論の必要性

- No. 42 十分な議論が必要である。男女共同参画ということに関する情報の提供が必要。(説明を含む)男女平等に関する意識の低さが障害ある。男女を平等に扱う意識改革が最優先であり、そうならば自然と男女共同は実現されると思う。早急な『男女比率の調整』とか『採用数の調整』は意識改革を伴わなければ、ただの『女性の優遇』であり無意味かと思う。女性が就業し、男性が家庭に入る家族

を、自然と認められるかどうかであると思う。家事が下等な職業であるという意識が透けて見えるのも気になる。

- No. 282 男女共同参画社会を実現していくには、個々の人がその社会の中身について理解することから、始まっていくと思う。これからは、男女関係なく、能力のある人が、重要なポストにつくほうが、日本の為でもあるし、会社のためでもある。だからこれからは、男でも『主夫』をするぐらいの気持ちでいかなければいけないと思う。
- No. 568 男女共同参画社会というテーマにおいて、女性においての社会(特に職場)進出が足りないことが問題であるとする。その場合、女性は結婚・出産を経験すると、家庭生活にどうしても重心をとりがちであるし、又、それを求められること、そして女性自身がその状況に甘んじて、職場における責任から逃れようとする事などに原因があると思う。育児・介護施設などの環境が今よりも整えられることは当然のことであるが男女共に『平等』という考えについても皆がもっと深く掘り下げていくことも大切だと思う。家庭と言うのは男女問わず精神的よりどころとなる大切な場所だと思うので、それを疎かにするような社会にならない考えを皆がもてたならば素晴らしいと思う
- No. 658 まだまだ『男女共同参画社会』という言葉を目にするのが少ないので、もっと日常の目のつくところでアピールしてゆくほうがいい。分かりやすく耳に入りやすい言葉のほうが、聞く気もおこるので工夫して呼びかけていくことも必要だと思う。
- No. 701 大変、回答の難しい調査でした。意識の変革は大変難しいことですので、長期間に及ぶ継続し啓蒙が必要だと思います。
- No. 716 Q18 について、人間としての成長の場と思う。男女共同参画社会に関する、多方面からの講師を招き講師をする等、山口大学の教職員の意識を高めると共に、学生・生徒を含め早い意識改革をしてほしい。
- No. 849 男女共同参画社会を本当に実現するのであれば、多くの人間が肯にしろ否にしろ、意識をもつことが必要。もっとアピールをしなければいけない。
- No. 1304 比較的、男女平等であろう学生生活しか経験してないので、社会的に女性がどれほど不利な立場にあるのかが実感としてない。小中高とさかんに男女平等について教えられてきたので、私と同年代の人達は、今のところさほど男女差別を意識してもっていないのではないかと。大学を卒業して、社会に出て、かなり年上の人とつきあっていくときに、今まで男女平等と教えられてきた意識が差別的な方向に傾いてしまっただけで、現状維持の状態が続く。差別意識をもった年代の人達にこそ、男女平等教育がなされるべきだと思う。また、これからも、年齢の低いうちから男女平等ということをおしえるべき。
- No. 1620 安心して働く環境作りは、男女の協力なしではありえない。大学教育の中にも男女共同の精神がいきいていなければならないと考える。男女平等、人権意識の高揚を図る施策がもっと必要である。
- No. 2534 法制度が先走っていて、慣例、慣習は改善されてないし、情報が少ないため、特に年齢の高い人たちの意識が低い。定年退職と間近にひかえた人にとって、自分は無関係と思っている。自分が若かったときには、そんな制度が無かったので、今更変えるのはおかしいと考える人が多い。新聞、広告などでもっと情報を流し、意識改革を行う必要がある。 <他 22 件>
- H. その他(アンケートそのものについてなど)**
- No. 1391 このようなアンケート調査が行われ、結果が出たとき、その結果は有効にいかされているのでしょうか。この意識調査の結果はそのように利用されるのでしょうか。もちろん、男女共同参画のために使用されるとは思いますが、アンケートに協力してよかったと思えるような、結果利用をお願いします。
- No. 402 Q15 について、女性が優遇を嫌って平等を目指さないから。全体に男尊女卑があるという前提でアンケートを作っていると考えられる。この結果は私の感想では信用するに値しない。アンケートを作製した時点で質問に偏りがなくどうか他者に評価してもらうことが、公正さを保つのに必要である。
- No. 2366 理想についてのアンケートなのか、現実のここ 10 年くらいの山口でのアンケートなのか、法で規定する『男女共同参画社会』のアンケートなのか、よく分からない。
- No. 2387 男女の問題ではなく、国際協力、競争に並べる能力を、また対応できるかなどの設問や意見が無いのが不満である。
- No. 2764 本当に、男女共同参画社会を実現しようとするならば、主夫の存在を社会的に認めるべきである。このアンケート見る限り、女性の社会進出のみの項目しかなく、男性が家庭に入る項目はない。つまり、このアンケートは女性のエゴでしかない。特に教職員の半分を女性にという考えを出す自体誤っている。女性の方が男性よりも能力が高いのであれば、女性教職員の方が多くてもいいと思う。このアンケートは女性のエゴでしかないと思う。
- No. 3068 まず、Q1~6 までの(特に 4,5,6)のような質問を最初にされたのは全く不快で委員の見識の程度の低さにただ愕然としました。男女平等をうたう前に Q1~6 のような内容で人を差別化しようとする姿勢は改めて、その上で真剣に討議して下さい。どの社会においても、まだまだ男女共同参画はなされていないと思いますが、自由な風潮の山口大学であればこそ、なしえる新たな社会が訪れる事を期待します。
- No. 196 多くの先進国側のように、結婚しても夫婦別姓を法律上認めてほしい。
- No. 503 働く女性と専業主婦との優遇差があると思う。年金保険制度などその例であると思う。『男性が安心して働くために家庭を守っている』から優遇するというのは、間違いであると思う。働く女性も今の現状では家庭のことも男性以上に行っている。 <他 11 件>